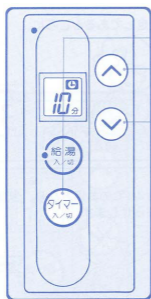


# 給湯リモコンの タイマーの使いかた

給湯リモコンは便利なタイマー付です！

\*タイマーはお知らせ機能だけです。

タイマー終了で給湯は自動停止しません。



## タイマー 入/切 を押す

- 前回使用時に設定の時間と (時計マーク) を表示します。

15秒以内

ふえる へる

## タイマー 入/切 で時間を設定する

- 1～99分まで1分ずつ連続的に変わります。

15秒以内

## タイマー 入/切 をもう1度押すと、 タイマースタート

- が点滅します。

タイマーが終了すると  
15秒間“ピピピッ”でお知らせします

“ピピピッ”を止めるには、 を押してください。

ブザー終了後、表示は「切」の状態になります。(給湯スイッチが「入」になっていると、給湯表示になります。)

\* 15秒以内に設定できなかったときは最初からやり直してください。

### タイマー設定後の表示

給湯スイッチ「入」の時は、設定後表示が元に戻ります。

(例)



タイマーの残り時間が知りたいとき



押す



しばらくしてから前の表示に戻ります

### タイマーを途中で止めるには

給湯スイッチ「切」のとき

ピッ



押す

給湯スイッチ「入」のとき

ピッ・ピッ

2回  
押す



# リモコンがない場合の お湯の出しかた

お湯の温度は通常60℃に設定されていますが、42℃または75℃に変更することもできます。ご希望があればお買い求めの販売店かパロマサービスショップまでご連絡ください。



混合水栓のお湯側（給湯栓）と水側（給水栓）をあけて、お好みのお湯を出す



シャワーをご使用のときは、  
手で湯温を確認してからお使いください。



## ご注意

給湯栓だけをあけると、約60℃のお湯が出ますので、やけどに注意してください。

# 必ずお読みください

## 注意してください

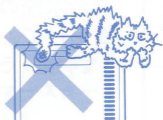
### 火災予防

- 機器の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗濯物、揮発油など）を絶対に置いたり近づけたりしないでください。
- 給気口や排気口をふさがないでください。  
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。  
排気口の前方は、60cm以上離してください。



### やけどに注意

- 使用中および使用後しばらくは、排気口部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいらっしゃる家庭はご注意ください。
- シャワーなど使用後すぐに使うと一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。



### 飲用にお使いのとき

- 飲用にお使いいただけますが、機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理用に用いないでください。



### 上水以外の水をお使いのとき

- 特に硬水使用の場合沸いたお湯を機器内にためておくと石灰分が付着してつまり、機器破損等の原因となります。  
これを防ぐには、下記のようにすると有効です。

- 1) 使用后、ガス栓をしめてから給湯栓をあけて機器内のお湯を抜く。  
(リモコン使用の場合は、リモコンのスイッチを「切」にして、給湯栓をあけます。)
- 2) 給湯栓から冷たい水が出るようになったら給湯栓をしめる。

\* 上水以外の水をお使いになって生じた故障については当社では責任を負いかねます。



### 市販の部品について

- この機器の純正部品以外は使用しないでください。

ガス機器を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。



## こんなときは

### ガス漏れに気づいたときは

- すぐに使用を中止してガス栓をしめ、お求めの販売店かガス会社にご連絡ください。

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入、切や電源プラグの抜き差しはしないでください。



### 異常時の処置

- 万一、異常燃焼（出湯中に“ゴー”と音のする燃焼）を起こしたときや、地震・火災などの緊急の場合には、

- 1) 給湯栓をしめ、(リモコン使用の場合は、リモコンのスイッチを「切」にする)
- 2) ガス栓・給水元栓をしめる。

異常燃焼のときは、お求めの販売店かガス会社にご連絡ください。



### 雷雨時の注意

- 近くで雷の音が聞こえてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防ぐため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカーで切ってください。)

- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



### 停電・断水時は

- 停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓をしめておいてください。

(通電・通水後はあらためて操作し直してください。)



### 長期間使用しないときは

- ガス栓・給水元栓をしめ、電源プラグを抜き、水抜きをします。

(9ページ「凍結を防ぐには」参照)



# 凍結を防ぐには

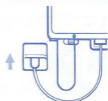
\*「凍結予防ヒータによる自動保温」と「機器内の水を抜く方法」は配管・バルブ類の凍結予防はできません。配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

## 凍結予防ヒータによる自動保温

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータが組込まれています。

(無風で約-20℃まで安心です。)

\*凍結予防のため電源プラグは抜かないでください。



## 通水による方法 (異常寒波のとき)

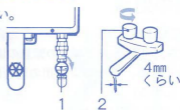
機器本体だけでなく、給水、給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

● リモコンがある場合は給湯スイッチを「切」にしてください。

1) ガス栓をしめる。

2) 給湯栓を少しあける。

(30分後にもう1度流量を確認してください。)



## 機器内の水を抜く方法

リモコンがある場合、リモコンの給湯スイッチは「切」にしてください。

1) ガス栓をしめる。

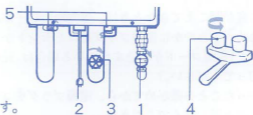
2) 電源プラグを抜く。

3) 給水元栓をしめる。

4) 全ての給湯栓をあける。

5) 水抜き栓をはずす。

● 再度使用するまでこのままにしておきます。



### 水抜き後の使いかた

水抜き栓(2ヶ所)をしめ、2ページ「準備と確認」から始めてください。

### 凍結したときは!!

- 凍結すると、機器の破損・異常をおこし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
- 凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してからお使いください。
- 凍結予防せずに凍結して、機器や配管を損傷させた場合の修理は有料となります。凍結予防せずに凍結した場合の事故については当社では責任を負いかねます。